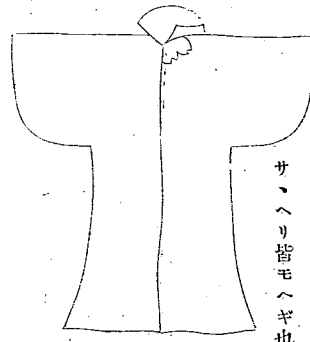


〔我衣〕貞享比迄ハ、女ナドニ合羽著ルモノナシ、皆々染湯衣ニテスミヌ、元祿ノ比、タマ〜老女夫  
 ノ合羽ヲ著シ往來スルモノ有、大ニ目ニ立タリ、ヲカシキコトニイヒヌ、寶永比出スギタル女、木  
 綿合羽ヲユシラヘ著シタリ、シカシ丸袖ナリ、裝束ハ黒ビロウドニシタリ、



サ、ヘリ皆モヘギ也

今田舎ノ老女ナドノ著ス  
 合羽是ナリ、裝束ノ裏ハ皆  
 金襴ヲ用ユ、江戸モ寶曆ノ  
 末迄是ヲ用ユ、安永ノ比ハ  
 ヤ黒サヤノエリナカケテ、  
 ボタンガケハ少クナリシ  
 トゾ、

正徳ノ末ニ至テ、フリ袖ノ木綿合羽ヲ著ス、袖永ク内袖ヲ緋縹子ヒドンスニシタリ、サ、ヘリ紫  
 此比ナリ、元舞子ヨリ始ルガ、上人ノ娘ハ駕籠ニ乗ルコトナレバ、下郎ヨリ始ルニ究レリ、野郎役  
 者ノ風ヲ似セタリ、享保ノ比、俳諧師合羽ヲ仕立カヘテ著シタリ、延享ノ比ハ、女モ此風ニ仕立タ  
 リ、併少シ、

合羽師

正徳年中、文昭院殿家○徳川 御濱御殿へ被爲成候節、雨天ノ時ハ、數多ノ上臈、皆々猩々○緋○合羽ヲ  
 著シ、御庭へ御供シタリ、是女人合羽ヲ著シテモ笑フベキニ非ズ、併俗人ト同日ノ談ニ非ズ、  
 〔人倫訓蒙圖彙〕合羽師 合羽并雨覆油紙、これ桐油桐と號す、柳馬場通六角より下に住す、所々に  
 あり、

合羽雜載

〔利家夜話〕下 一太閤様○豊臣 坂本の古城の跡へ御鷹野に出御の時、内府様○徳川 大納言様○利  
 家家を初め、國大名端々に供奉被成候、其時平塚と申者など、鳥を手取に仕、太閤様御機嫌能候時、俄